

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



しまね いきいきねっと

2013
2 月号

お知らせ

入場無料

プロボノ シンポジウム を開催します!

プロボノって
なんだろう…?

・「プロボノ」とは、「公共善のために」を意味するラテン語の「Pro Bono Publico」を語源とする言葉で、【社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門的知識を生かしたボランティア活動】を意味します。英語に訳すと「For Good Public」。労働力を提供する従来型のボランティアとは異なり、仕事のスキルや経験を最大限に活かす新しい社会貢献のスタイルです。



・最近では、本業で持つ一枚目の名刺以外に、社会活動に取り組む人が“2枚目の名刺”を持つことや、家と職場に加え、その中間地点、すなわち「サードプレイス」を求めてカフェやコミュニティに集うように社会貢献を行うなど、新しい社会貢献のカタチが生まれつつあるようです。

・他県では、日頃の活動が忙しいNPOが“運営ノウハウの改善”、“ホームページの作成”など、なかなか手が回らない作業においてプロボノの支援を受け、問題の解消につながった例があります。



他に職業を持ちながら、様々な分野のプロが自分たちの専門的なスキルを無償でNPO等に提供し、サポートするという新しい形のボランティア! そんなプロボノのシンポジウムを山陰で初開催します! ご参加お待ちしております!

講師：特定非営利活動法人サービスグラント代表理事 嵯峨 生馬 氏

1974年、神奈川県横浜市生まれ。98年、日本総合研究所に入社。2001年、東京・渋谷を拠点とする地域通貨「アースデイマネー」を共同で設立。02年にNPO法人化、03年から代表理事。05年、日本総研を退職。同年、NPOの情報発信・マーケティング等をプロボノにより支援する「サービスグラント」の活動を開始。09年にNPO法人化し、代表理事に就任。現在、東京および関西を拠点に1,500人を超える社会人プロボノワーカーを集め、延べ110団体以上のNPOに対しウェブサイト・パンフレット・業務改善等の成果物提供をコーディネートしている。嘉悦大学非常勤講師。著書に『プロボノ～新しい社会貢献 新しい働き方』（勁草書房、2011年）、『地域通貨』（NHK生活人新書、2004年）等。



浜田は、嬉しい平日夕方からの開催♪



松江は、土曜日午後から♪



県外の事例発表もあります!

3月15日(金) 18:30~20:30
いわみぷらっと会議室2 (定員 30名)

3月16日(土) 13:30~16:00
くにびきメッセ601会議室 (定員 100名)

プログラム 詳細はチラシをご覧ください

1. 基調講演
「新しい社会貢献のカタチ “プロボノ” とは」
2. 事例発表 (松江会場のみ)
3. フリーディスカッション

【問い合わせ・申込み】

(公財)ふるさと島根定住財団 平野・森山
TEL 0852-28-0690
【申込み〆切】 3月8日(金)





助成金情報

全互協社会貢献基金助成
期 ~2/28 (木)

婚礼・葬儀など儀式文化の調査研究や、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、環境・文化財保全、国際協力・交流に関する事業を助成します。
対 非営利団体又は大学・研究機関(個人も可) **金** 1件200万円を上限(ただし研究助成は100万円を上限)
問 (社)全日本冠婚葬祭互助協会 Tel:03-3596-0061

ドコモ市民活動団体助成
期 ~3/29 (金)

「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する活動(不登校・ひきこもりの復学・社会的自立支援、児童虐待、性暴力などの被害児童保護、非行や犯罪から子どもを守るための支援、子どもの居場所づくり、発達障がい児支援等)を助成します。**対** 国内の民間非営利活動団体でNPOなどの法人格を有す団体か、7月末までに法人登記が完了見込の団体で、活動実績が2年以上の団体 **金** 標準1件50万円、最高200万円
問 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド事務局
Tel:03-3509-7651 Fax:03-3509-7655 E-mail:info@mcfund.or.jp

街なか再生助成金
期 ~3/31 (日)

街なかで市街地整備を行うための初動期の活動や、中心市街地活性化に資する取組み(まちづくり構想・計画策定、各種まちづくりルール等の作成、まちづくり推進組織の発足・推進等)を自発的に行う各種団体等の活動・事業に対し助成します。**対** 市街地整備を推進するための準備組合・勉強会・協議会、街づくりに関する活動を行う特定非営利活動法人、中心市街地活性化協議会、まちづくり会社等 **金** 1件あたり100万円を上限
問 (財)区画整理促進機構/街なか再生全国支援センター内事務局
Tel:03-3230-8477 Fax:03-3230-4514
URL:htp://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html



イベント情報

しまね女子会フォーラム in 石見
日時 3/2 (土) 浜田 13:00~

「ブータンに学ぶ、幸せな生き方」をテーマとした講演や、県内各地の女子会の取組紹介、ワークショップ、交流会(先着順100人、当日支払4000円)などがあります。申込み〆切は2月25日(フォーラムのみ) **場** 県立大学浜田キャンパス **費** 無料(フォーラム) **定** 300人
問 島根県しまね暮らし推進課 Tel:0852-22-6234(川合)、
島根県西部県民センター Tel:0855-29-5514(河野)

3.11東日本大震災復興支援
ドキュメンタリー映画上映
日時
3/11(月) 松江 18:00~

東日本大震災によって多くのものを失った人たちが、極限状態の中で立ち上がる姿を力強く描き出す感動の長編ドキュメンタリー映画「PRAY FOR JAPAN~心をひとつに~」を上映します。上映後には、宮城県で復興ボランティアに取り組むNPOげんき宮城研究所・みちのくハ雲会主宰の門間光紀氏による現地活動報告もあります。会場内では、復興支援のための募金を募ります。
問 3.11東日本大震災復興支援ドキュメンタリー映画上映実行委員会
Tel:0852-22-5508
場 島根県民会館中ホール **費** 無料

しまのご自然楽校ほうけん組
日 3/23 (土) ~26 (火)

隠岐・海士を会場に、海や山で子ども自身が、その時その場所でやりたいことを、大人のメンバーが最大限に応援します。それぞれが主役になって楽しく学ぶ自然楽校です。**対** 小学1~6年生 **定** 12人
場 集合・解散は隠岐汽船七類港(松江市美保関町)、宿泊場所は海士町都市農村交流センター(テント泊も有) **費** 39,800円
問 NPO法人隠岐しぜんむら Tel・Fax:08514-2-1313
E-mail:sizenmura@navy.plala.or.jp



募集情報

木づかいバスツアー参加募集
日 3/9 (土)

3月9日午前9時から午後3時頃まで、江の川周辺をめぐるツアーです。道の駅かわもとに集合し、木材チップ工場や、炭窯、木材市場の見学、地域材を使った手作りログハウスでの昼食、キノコ狩りなどを楽しみます。申込み〆切は3月5日。**主** 樹冠ネットワーク **定** 45人 **費** 1,500円
問 邑南町役場農林振興課 Tel:0855-95-1116
樹冠ネットワーク事務局 E-mail:jukan5@yahoo.co.jp

※アイコンの説明

日日にち **時**時間 **場**場所 **定**定員 **費**費用 **主**主催 **期**期日 **金**助成金額 **対**対象 **問**問合せ先

お知らせ

地域活性化支援事業 (ステップ・ジャンプ) 社会貢献活動支援事業 (単年型) 採択団体 決定!

県民いきいき活動支援(助成)の地域活性化支援事業(ステップアップ事業・ジャンプアップ事業)と社会貢献活動支援事業(単年型事業)の今年度第2回審査会がこのほど開かれ、それぞれの採択団体が決定しました。

採択された団体名と事業内容は次のとおりです。

地域活性化支援事業

◆ステップアップ事業

- ・NPO法人河南はつらつセンター(出雲市)
……地域活性化プロジェクト

◆ジャンプアップ事業

- ・有限会社富喜丸水産(隠岐の島町)
……隠岐ブランド「あごだし」加工・販売拡大プロジェクト
- ・しまねMICE推進協議会(松江市)
……MICE推進事業
- ・農事組合法人まめなかファーム新田後(出雲市)
……夢のある地域農業モデル創出事業

社会貢献活動支援事業

◆単年型事業

- ・だいじょうぶだけん! 島根県! ~きずな応援プロジェクト~ 協議会(雲南市)
……だいじょうぶだけん! 島根県! ~きずな応援プロジェクト~
- ・3・11メモリアルウォークあらかき実行委員会(出雲市)
……3・11メモリアルウォークあらかき「あの日を忘れないプロジェクト」
- ・郡山すくすく笑顔の会(邑南町)
……地域で支える子育て支援事業

(※社会貢献活動支援事業(複数年型)は1月号に掲載済みです)

しまね田舎ツーリズム推進大会 in大田 3月14日(木)、農林福祉会館バストラルで開催

中山間地域の抱える課題に向き合い、活力ある人々の暮らしや交流を楽しむ「しまね田舎ツーリズム」を推進し、実践者の輪を広げるため、推進大会を開催します! 大会主題は「田舎ツーリズム・交流が地域を元気にする」。実践者や行政担当者の方をはじめ、田舎ツーリズムに関心のある方なら、どなたでも参加いただけます。

開会行事 13:00~

- ・スピーチ「田舎ツーリズムに思うこと」
ふるさと島根定住財団理事長 藤原義光

講演・事例発表・意見交換 13:20~

- ・講演「手と手をつなぎ地域が元気になる交流を」
益田市匹見町まちづくりコーディネーター 石橋留美子さん
- ・事例発表
子ご美の里、緑と水の連絡会議、三瓶まちづくり委員会

閉会行事 16:30~

交流会(茶話会) 16:40~ (交流会参加者は会費500円)

【問い合わせ・申込み】 申込み〆切 3月8日(金)

大田市の方…大田市役所総務部まちづくり推進課

(TEL 0854-82-1600 FAX 0854-82-5885)

大田市以外の方…ふるさと島根定住財団石見事務所(担当河野)

(TEL 0855-25-1600 FAX 0855-25-1630)



報告

阿蘇・由布院

しまね田舎ツーリズム 県外特別研修会開催

しまね田舎ツーリズム県外特別研修会として、2月9日から11日まで熊本県高森町と大分県由布市で開催された「九州ツーリズム大学」2月講座へ、島根県から民泊・行政関係者ら19人が参加しました。

「学びから実践へ~多様化するツーリズム~」をテーマに、農村体験や教育旅行の受け入れ、門前町のまちづくりなどに関する各種講座やワークショップが行われました。地域資源を新たな視点で再発見し、まちあるきの素材などに生かす「世間遺産」の考え方や、衰退していた門前町の商店街を甦らせるまでの実践例、農村部における高次元農業(情報を活用し、効率的で環境に配慮した農業)と地域活性化のケースなどを学び、地元の人との交流の輪を広げました。



広報のコツ

「広報がうまくいかない」という悩みを抱える団体は多く見受けられます。話す広報がプレゼンテーションであり、会報やパンフレット・チラシ・ポスター類は紙(アナログ)媒体、WEBサイトや動画などはデジタル媒体を使った広報と言えます。去る1月15・16日当財団主催で「伝えるコツ」プレゼンテーションスキルアップセミナーを開催しました。その中で古賀講師から提案のあったいくつかの点をご紹介します。

広報とは、活動の内容を広く知らせることであり、自分たちの思いや問題意識を伝えることです。デザインや表現の以前に、「誰に、何を」伝えたいのか「課題」と「目的」は何なのかを整理しておく必要があります。また、欲張らずに、内容をひとつかふたつにしぼることが、広報が上手くいくコツであると言えます。

できれば、一番伝えたいことを小学5年生でも分かる言葉で1行にまとめる「団体スローガン」を作り、パンフレットやチラシ、WEBサイトやイベントなど、広報活動をするときにはいつも、使い続けてみることです。何度も目にするということはブランド・イメージやアイデンティティを形成し、他団体との差別化にもなり、ファンを増やすことにもつながります。

また、人の印象が内容だけでなく話し方で決まるように、文章の「トーン&マナー」(調子や物腰)にも気を使ってみましょう。広報物の文章を書くときに、「読んでくれるのは誰なのか」で文体を書き分けるのです。伝わることがきっかけとなって、活動に共感を持ってもらい、さらにはそれを支援につなげて、社会を変えていくということまでを視野に入れた広報をしていきたいものです。



コラム

島根で 頑張る人

出雲の自然と触れ合いながら 「ガキ大将」育成を目指す

子供の頃、自然の中で遊んだ楽しい日々が忘れられず二十代で関西から出雲市へUターンした松井さん。幼い頃の思い出の海へ出かけた時の光景が、団体立ち上げへの背中を押した。「子供たちの姿が岩場で見かけられない。遊ぶといっても整備されたビーチ。自分が幼い頃は、岩場で日が暮れるまで友達と遊んだものなのに」。小さい頃から田舎の自然の良さを知らない、都会へ出たきり、帰ってくることもなくなるのではないかと危機感を覚えた。

子供達が自然の魅力を感じて、市内のダイビングショップなどと



自然体験教室の様子

自然体験教室を開設。翌年には、文科省からの補助を受け、私設の「放課後子供教室」として再スタートを切る。空き家を借り、平日の放課後は身近な自然の中で、年に数回は山や海に出かけて団体遊びができるようになった。さらにもう一つの設立目的である、リーダーシップのとれる「ガキ大将」の育成にも力を注ぐ。異年齢の縦割り班でグループを構成し、年上が年下の面倒を見るという図式を作り上げた。分からないことは、子供同士が教え合うことで人間関係が形成される。

安全面に徹底して配慮しているのも人気の秘密だ。同行スタッフは全て、救助技術の資格を持ち、年数回の講習も受けている。

自然の中で思い切り友達と一緒に遊ぶ子供達には、参加当初なかなか見られなかったキラキラした表情がうかがえるという。

これらの活動の中で生まれた一代目「ガキ大将」は、現在高校生。頼もしい青年となり、イベントを手伝う時など素晴らしいリーダーシップを発揮している。松井さんの手から、次の世代へと未来のバトンをつなぐ準備が始まっている。

(A)



ガキ大将養成委員会 代表 松井 純さん

出雲市出身。関西でデザイン会社に就職し、造園の研鑽を深めた後に出雲市へUターン。造園会社を営んでいる。18年前から始めたカヌーは世界大会に出場するほどの腕前の持ち主。

団体の今までの主な活動

平成17年、年3回の自然体験会を開催。18年、ガキ大将養成委員会を設立。文部科学省「子供の居場所事業」の補助を受け、「放課後子供教室」を開設。春は登山、夏は海や川での水遊び、冬には自作のソリ作りなど、自然の中での遊びを活動のメインとしている。

スタッフ後記

寒さの中にも少しずつ春の息吹が感じられる今日この頃ですが、皆さんはお元気ですか？年度末に向けて、各種推進大会や、シンポジウム、フォーラムなど、盛り沢山のプログラムを計画中です。推進大会やフォーラム、シンポジウムの催しの多くでは、来場者の皆さんとの意見交換やフリーディスカッションの場面も用意され、新しい人や意見との出会いが促されます。交流の中に、思いがけない学びや恵みの種が転がっています。多くの皆さんと会場でお会いできることを願っています。

(K)

島根いきいき広場 リニューアル予定 注目!

現在、県民活動応援サイト「島根いきいき広場」のリニューアルを計画しています。情報が探しやすく、イベントの告知もしやすくなります。また、活発な活動の様子がわかる写真も多数ご紹介できるサイトになります。4月のリニューアルをお楽しみに!

[H25.1.31 現在]

- 県内NPO法人数・・・257
(内 認定NPO法人数・・・2、仮認定NPO法人数・・・1)
- 新設NPO法人数・・・0 (H25.1月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数・・・55
- だんだん認証レベル取得団体数・・・40 (内 レベル2・・・24)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2階
石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所